

第三者意見

ミネベアグループCSRレポートを拝読して



株式会社日本政策投資銀行
環境・CSR部長

竹ヶ原 啓介氏

環境報告書からCSR報告書へ移行して3年目にあたる2012年版の報告書は、幾つかの点でエポックメイキングな存在です。一言でまとめてしまえば、昨年版で一挙に体系化が進んだグループCSR経営像の作り込みが進展し、その経緯が極めて印象的に報告されているということに尽きる訳ですが、構成要素に分解してみると、ミネベアグループのCSR経営を知るうえで強いメッセージ性を備えたトピックスが巧みに配置されていることに気付かされます。

まず、昨年度策定されたCSR目標について詳細なレビューが行われるとともに、いよいよ2015年度に向けた中期目標が提示された点を挙げる事ができます。トップメッセージで貝沼社長が強調されているようにグローバル企業として目指すべきCSR像が提示されており、グループの個性を強く反映した目標が提示されています。

次に、ステークホルダーを意識した情報開示が徹底されている点です。今回は象徴的な3つのコンテンツが提供されました。まず、タイでの洪水対策を巡る報告は、均一な品質づくりと現地化を通じて営々と築き上げてきた従業員との信頼関係を浮かび上がらせています。同時に、洪水発生から復旧までを時系列で再現しつつ、これを踏まえたバックアップ体制の整備や在庫戦略の見直しといった本格的な事業継続マネジメント対応で締めくくる記述は、対顧客への供給者責任の真髓を端的に示してくれる好例です。

第二に、創業60周年を踏まえてグループの原点を振り返る

特集1は、広範なステークホルダーに対してグループCSR経営の根幹にあるものをあらためて伝えるうえで良質のメッセージ性を備えています。

最後に、今回のハイライトともいえる特集2サプライヤー・ダイアログです。2012年に新たに制定されたCSR調達ガイドラインを題材に、ホットイシューであるバリューチェーンへの取り組みを、サプライヤーとの対話を通じて提示するアプローチは先駆的であり、非常に優れた報告です。海外まで含めた広範なサプライヤーに対する要請の徹底を遠望しつつも、まずは基本姿勢を示し対話を通じて相互理解を進めていくというコンセンサスは、業種を超えた普遍性を備えていると感じました。

この他にも、環境方針への改定に合わせて国際社会や自然界という新たなステークホルダーが明示的に追加されたことやグローバルコンパクトへの参加、社会性の記述の充実など、変更点は多岐にわたりますが、特筆すべきは、これだけ豊富なコンテンツを取り入れながら、情報の選定、ウェブとのすみ分けにより非常にコンパクトで読みやすい報告書に仕上がっている点です。

今後は、ステークホルダーとの積極的な対話を一層進展させ、グローバル企業としてのCSRモデルを確立することを期待したいと思います。また、対話の対象拡大に加え、その深さを追求する趣旨で、サプライヤー・ダイアログで要請されたフィードバックを実施し、然るべきタイミングでエッセンスを報告いただければと思います。中期目標に向けたさらなる飛躍を期待しております。

竹ヶ原 啓介氏

一橋大学法学部卒業後、日本開発銀行(現 株式会社日本政策投資銀行)に入行。調査部や政策企画部、フランクフルト首席駐在員などを経て、現職。その他、環境省「環境産業市場規模検討会」委員、「環境成長エンジン研究会」委員、内閣官房「環境未来都市推進ボード」、「環境未来都市評価・調査検討会」委員などを務める。

第三者意見をいただいて



常務執行役員
財務・コンプライアンス推進部門担当
今仲 政幸

竹ヶ原様にはCSRレポート発行初年度である2010年度より、継続的にご意見を頂いており、ミネベアグループのCSR推進における重要な課題をご指摘いただいております。

3年目となる本年度においても、貴重なご意見、ご期待の言葉を頂きありがとうございました。本年度はタイでの洪水に対する報告や、2つの特集記事などを掲載しましたが、そうした情報開示を高く評価いただき、大いに勇気付けられました。

昨年の課題となっておりましたCSR中長期目標については、2011年度CSR目標の進捗を共有する、部門横断のCSRワーキンググループを立ち上げ、2012年度目標および、2015年度を目指した中期目標として策定しました。中期目標の達成に向けては、ミネベアグループにおけるCSRマネジメントのPDCA推進体制のさらなる強化に加え、ご指摘いただきましたように、ステークホルダーとの積極的な対話が重要であると考えております。

また、2011年度CSR目標の取り組み結果においても、未達成のものや、さらなる努力が必要なものがあり、課題として認識しております。引き続きCSR活動の改善を図り、レベルアップに努めてまいります。